

70.15
 飛人 さん

事務局 津田尚美

編集岸本桂子

地には平和を、心に音楽を、

宮本圭子

もう10年も前になろうか、オジさんにも歌がほしい、と野坂昭如や永六輔がアピールして、情的には中年族の共感を集めた事があった。通りすがりにもれてくるピアノの音に中産階級の音りをかざとった我々の時代と異なり、今若者の生活は音楽に充たされていく。私聞く人、あなただ作る人でもなくギター片手にオリジナルのひとつやふたつは難なくこなすヤングも珍しくはない。所で、中年女性に音楽の世界はあるのだろうか、とひとしきり話題になったことがあつた。いやいやママさんコースがあるが、いやはやと辛うじてひとつの指摘。レコード店ほもとよりコンサート会場では左側の若者、クラシックのコンサートでも中年女性はいない。忙しくてそれどころじゃない、時間も金もなくて、という声が聞こえてくるようだ。それに音楽がなくなると生きていけない……!

左脳は言語を司り、右脳は感性を

二なす。日本人は左脳ばかりを酷使しているよ
 うだと脳医学の権威、角田先生は指摘している。
 音楽の世界はクラシックから演歌までまさにク
 ロスオーバーの時代。のびのびと心を耗す音楽
 を見つけ出して右脳にみがかきかけよう。
 民謡は音楽の原点ともいうべきもので、洋の内
 外をとわず無条件に好ましい。数い、レジスタ
 ンス、労働歌などシビアな状態から生まれた人
 間を愛しみ、恵に向かつて心をひとつにさせる
 音楽も又心ひかれろ。
 フェミニズムの中にもなくはない。国際婦人年の
 テーマ曲ともいわれたアメリカのヘレン・デ
 ーがうたう「私は女」。もとビートルズの今はそ
 ジョーン・レノン夫人ヨークは、「女は世界の奴隷か
 と問いかけ、コンスタンス・オースターズで
 は、「女性たちよ、今すぐに立ち上がろう。
 最初からやり直すにはまだ間に合う……」
 というジャンルに。

「筋肉の間に夢を織り込み
 心の中の生えるアゴで野心をかみしめる
 男たちよ、
 肌身はなさぬ小さな包みのなかみが氣にな
 るね、
 鉄砲玉ならいやだけれど……し
 と新しい視点でバートナーの男たちをみつめる
 中山千夏、
 音楽を樂しめ、女が女らしく生きるためには、
 平和でなくちや、アウシユビツ収容所の女性
 オークストラが味わった音楽の悲劇はくり返し

たくない。

音楽は平和の武器となり得るか。
わく国連軍縮総会が開かれる今年、8・9十か
サキ実行委員会は、ひき続き「原爆音楽」の掘
り起し、創作活動にとりくんでいる。

市長交渉についてのアピール

葛西よう子

昨年に引きつづき今年も又、近々、本島市長に
つづてん、ウーマンの会には面会出来る段取りが、
事務局や後藤さんの努力で出来ることになりま
した。どうして市長交渉をやるのか？
私個人の答えは「何と女の事を男はこんなにかう
ないのだらう」という疑問の只中に私がいるかう
です。先日、長崎新聞の女のライフサイクルを
とり上げた企画の取材に少々協力した時にも痛感
した事は、この問題にまじめにとり組もうと勉強
している記者氏でさえも女の立場、女の問題
に全然無知であるという事でした。四十う二年
生きてきて、しみじみ思う事の一つは、自らの
生活、考え、興味等それ以外の世界をいかに知
らないか、知る事がいかにむずかしいか、自
分の思想、感性でまわりの出来事とどうえ判断
してゆく以外に方法はないと知りつつ、かつそ

の狭さ、危険性、一面性にかく然とするのです。
男と女がある以前に——さんという一人の人
間があるのだという根本に立ちつつも、長い間
の抑圧と差別の歴史を通して、女を抜きにした
社会体制ががっちり成立してしまっている現
在、女がその時々、生活の場において人間とし
て生きるためには、行政サイドからの手助けが
どうしても必要だと思っています。差別される側が
その差別をはねのける為には差別する側、差別
によって利益（あらゆる意味での精神的、経済
的）を得ている側からの助力は、意識的、無意
識的を問わずありえないと歴史を通して我々は
知っています。

この男性のみが人間であるという無言の枠組
の社会の中にあって、人間として生きたいのな
ら、私運女は、あらゆる場所であらゆる機会
をとらえて、心の中の不満、いら立ち、悲しみ
をおさくらめることなく、きちんと分析し、自己
をみつめつつ吐き出し、声を上げつづけてゆく
以外に方法はないと思います。そしてそれが又
男性にとっても「男らしさ」という呪縛を離れ
て人間らしい生き方の出来る社会を得る道だと
思います。

地方行政の大きな仕事の一つは、その地域の
住民の日常生活に根ざした問題をとり上げ解決
の手助けをする事です。長崎市に住む「女」の住
人のいくたりかとして私達もここに声を上げた
いと思います。市長に対し、日常生活の中でど

んな要求を持っていかを声を大にして知らしめる事は一その実現の可能性は一応ぬきにして
も一市民の義務であると考えます。

今回の市長交渉に際しては「女性の地位向上」という大きな目的を掲げ、同時に今すぐにも実行可能なプランとして「婦人問題対策室」の設置を掲げました。婦人問題を調査研究する機関としての機能を期待すると同時に、今すぐ動ける開かれた窓口としての婦人問題全体のコントリールセンターとしての機能を期待します。私達女の要求、例えば離婚を願う時の駆け込み寺、法律上の相談相手、老人をかかえた主婦へのヘルパー派遣、就職紹介、パートや内職の低賃金賃金未払いの相談、保育所へ入所させたい時、主婦が病気の時のヘルパー派遣、職場で不当な差別があった時、夫の暴力、婚約不履行、その他実に様々の女の直面している問題は、個人の努力、家族の協力を越えた社会的問題が実に多いのです。それらを助力する施設はすでに相当数設置されています。厚生省、県、市、職安、総理府、警察等実には色々の部分に別々に存在し、事に直面し、どこへ相談してよいかわからず、又PR不足のため、そうゆう施設がある事すら一般に知られていない場合が多いのです。まずその窓口へ行けば、どこへ行、たうよいかわからず、バイスしてもうえる経験と責任ある婦人が常駐する機関をのぞきます。民間の各種の婦人団体との連絡、そこで発行される印刷物の閲覧、女のための集会のニュースも又そこへ行けば得られることをのぞみます。

女が自らの問題を自らの手で解決しようと決心し、まず一歩ふみ出す時、五里霧中の険しい道程にあつてその支えとなるほのかな街燈、その一つをせびとも長崎市役所の手でともしてほしいのです。

以上は新年以来、寿岳章子さんの講演会の後、NBCのビデオ視聴の後など会員の出席可能なメンバーが集まつて語り合つた内容から自然に形をとつて来たものです。会員の皆さん、この他にも市長行政へぶつけたい事がたくさんお有りな事でしよう。例会の時に考えて来て、ささいな事でも、夢のような事でも出し合い、考え合つてゆきたいと思ひます。互いにがんばりましょう。道は遠く、又市長にぶつけても、どこ迄わかつてもうえるか、実現出来るかと考えるとあまりの道の遠さにゾッとする日々でもあります。しかしだからこそ、今、私達の要求の声を一つでも上げておく事が次の世代を産み育てる私達女の任務だと確信するのです。

NO 37 長田律子さんの「ちよつと気になること」に對して三川町の高塚さんよりハガキを頂きました。高群選枝の「女性の歴史」が長田さんの疑問に十二分に答えてくれるのでは……と。

会報に關するご意見、ご希望お待ちしています。

本の紹介

◎保育園育ちは落ちこぼれ？

—わたしの保育園白書—

川原節子 梓書院 千円

川原さんは、福岡地方裁判所の速記官です。戦身時代から保育所運動をされ、現在、子供さん3人で末の子供さんが小学校に行きようになり、20余年の保育運動を振り返り本を書かれたそうです。（道上美枝子）

◎We —新しい家庭科雑誌—

国産婦人科に刊行された女性差別撤廃条約に批准するのに外務省はいいといっているのに文部省のおじいちゃん達が困らせているのを知っていますか。そう——高校長連合会が女は家庭に使命感をもたなきゃだめだ——というのです。この核家族の現実では、天は重要な家族の一員なのです。女もただけで男も生計的に自立できないと、「クレイマーズ・レイマーズ」にならないと誰が断言できますか？
家庭科の男女共修に積極的にとりくんできた半田たづ子さんが編集長です。

皆さんものをいってみませんか。

ハロページ 年10回発行
教科書を知ることは、今の時代の教養の一つです。
一冊（五百円）ずつでも一年間（五千円）でも！
事務局でまとめています。（菊田玲子）

◎いきいきと生き抜くために

—自立をめぐる女子教育—

柳淑子 現代書館 千五百円

高校生に自立をどう教えるかということで、すばらしい実践の記録が生まれました。
（購入を希望される方は岸本まで）

◎わたしは女の子

大養智子 国土社 千円

柳淑子さんでは、ちと難しすぎるとお考えなら大養智子さんが若い女の子たちに贈る愛のメッセージ集は如何ですか。すばらしい未来は、誰かが手してくれんものではなく、自分自身でつかみ取るものだ。小さい時から白いうエディンゲドレスどまりの人生の設計図で終わってしまうてよいのかと……
中学生向けですので童話館にありましたよ。

（岸本桂子）